

名前

を知る

ワカサギは「幼い・細魚」
アイヌ語でシルコポプ



❖ オショロコマはアイヌ語のオソルコマ（尻・それによって・泳ぐ）から ❖

この冊子は、魚の名前を覚えようという考えでは作られていません。個々の魚の名前をわかってもらおうとも考えていません。

それより、いろいろな見方をわかることで、少し魚を身近に感じてもらうとしています。

しかし、名前がつまらないわけではありません。名前にはその魚に対する人の思いが込められています。その魚の特徴が表されています。

名前の持つ思いがけない意味を知ると、また少し、魚を身近に感じられるはないでしょうか。

魚の名前	名前の意味	アイヌ語名
ヤマメ 〈別名: ヤマベ〉	「山女魚」 ①「山鱒群(ヤママスムレ)」の意。 ②「メ」は魚介の総称で、「山の魚」の意。	①ポンイチャニウ。 「子の・サクラマス」の意味。 イチャニウは「ホリ・人」の意。 ②イチャンコツ。 「ホリ・の上・にたかっている」の意。
ウグイ 〈別名: ハヤ、アカハラ、シオジャッコ、ノヲ、クキ、アイソ、ウゴイ、ホンバヤ、アカウオ…〉	「石斑魚」 ①「イグイ」の転か。 ②「ウツグヒ(空食)」の略。 ③「ウミゴヒ(海鯉)」の意味。 ④「鵜食い」で鵜が食う魚の意。 ⑤常に底でなく水面近くを泳いでいるから「浮いている魚」の意で「浮魚(ウクイ)」。	①スプン。 「赤腹」の意味。 ②オトウヤッケ。 「その沼・網・あらしめる・者」の意味。
キュウリウオ 〈別名: キュウリ〉	「胡瓜魚」 特に産卵期になると、キュウリに似た青くさいにおいがするため。	①ヌイラ。 「強いにおい」の意味。 ②フラ・ルイ。 「においが強い」の意。 ③パイカハ・チェヘ。 「春の魚」の意味。
イトヨ 〈別名: イトウオ、トンゲ、イデヨ、ハリサバ、タサバ、ハリタテ〉	「糸魚」 巣を作るときにオスが糸状の粘液を出すことに由来するという。	①アイウシチェプ。 「とげ・生えている・魚」 ②ロコム。 「三本の・それ・帯びる」 ●イバラトミヨは「トイロコム」

参考文献

「北海道の淡水魚」 稗田一俊 北海道新聞社 1984

「図説 魚と貝の大辞典」 望月賢二 監修 魚類文化研究会 編 柏書房 1997

「検索入門 川と湖の魚①」 川那部浩哉・水野信彦 保育社 1989

「検索入門 川と湖の魚②」 川那部浩哉・水野信彦 保育社 1990

「動物名の由来」中村浩 東京書籍 1981

「アイヌ植物誌」 福岡ト子 草風館 1995

「山溪カラー名鑑 日本の淡水魚」 川那部浩哉・水野信彦 編・監修 山と溪谷社 1989